



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 兼(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

週報

第259回例会 6月3日(火)AM7:30~8:30 オークラホテル4F平安の間
 司会:野田みよ子 点鐘:原田道子 ロータリーソング:希望のエナジー

会長挨拶

明日から1週間ハワイです。会長職お疲れ様のプレゼント?ではなくて、電子申告全国で50番以内になったTKCのご招待です。
 さてやり手の社長さんに「今一番儲からない業界は?」と質問されました。「その業界で誰もやってないことで儲けたい!!」とのこと。ビジネスをゲーム感覚で楽しんでいるようでした。別の社長さんは「発展途上国の知り合いは?」と聞かれ「アフリカのガーナは?」と言うと「すぐ紹介してくれ!何時行ける?アフリカは自国の物を買いたいし、日本のものを欲しいだろうから契約書を持ってすぐ行きたい!!」とのこと。浜松の中で引き継がれていく「やらまいか精神」。新しい産業を生んでいってほしいと願います。

幹事報告

・本日、メールボックスの中にロータリーの友6月号とガバナー月信6月号が入れてありますのでご確認をお願いします。
 ・ビュー広場の今月のテーマは、『一年を振り返って』です。この一年で楽しかったことや苦しかったこと、印象に残った例会等なんでも結構ですので自分の思いを綴ってくださるようお願いいたします。

委員会報告

出席委員会・・・メイクアップに該当する委員会・部会活動の規定についての資料説明
 国際奉仕委員会・・・ミャンマーサイクロン災害の義援金を中日新聞社にお渡し。留学中の知久真佑見さんからの手紙報告
 歌の会・・・例会終了後のミーティングのお知らせ



義捐金を渡す富田国際奉仕委員長

スマイル報告

・秋山雅弘; 6/1(日) 6/8(日) アクト東側展示イベントホールでISTSの国際宇宙展示会が開催。ロケットや人工衛星だけでなくスズキのコンセプトカーKIZASHIやメンバー池戸さんの作製された車も展示されています。小粥さんもメンバー。
 ・小粥勝好; 6/1(日) 次男の結婚式には祝電をありがとうございます。神奈川の藤沢での挙式で未だ疲れが残っています。
 ・鈴木和浩; グランドホテル浜松開業40周年記念第二段としての割引券を用意しました。
 ・山本英夫; ボールペンゼブラ様のリーフレットを監修。大変好評との事で展開が楽しみです。

出席報告

98名中63名64.29%
 前々回修正出席率58.16%

コラム

お産難民 その5

充実した設備と充実したスタッフそして母児が突然危険な状態になってもきちんと対応できるシステムが整っている産院が全国に必要です。理想的なお産は妊娠する前からの正しい教育と指導の下に、良い父親と良い母親になるための両親準備学級の単位を取得する必要があります。親となるための免許証ですね。出来ちゃった妊娠ではなくて、十分に準備されて本当に望まれた妊娠としてよい育児環境が整えられていなければなりません。

文> 成田喜代司

POWER HAMAMATSU
 ROTARY CLUB
 JAPAN
 国際ロータリー第2620地区・静岡第7分区分
 パワー浜松ロータリークラブ



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

議事卓話

地域産業をどう活性化するか・・・ 塩田進さん（はままつ産業創造センター所長）



国民総生産の大体2割がものづくりによるものです。しかし、この高々2割が重要な役割をしています。輸出の9割がものづくりの結果なのです。この稼ぎを石油、食料、材料の輸入に使っているのです。もしこれが無くなったら、大変なことになってしまいます。ものづくりは中小企業が中心となっている基盤技術なのです。今、中小企業はグローバル化の波に飲まれないように単なる改善、改良ではなくて、革新的かつ継続的なイノベーションを起こさないと生きていけない状態になっております。それには、地域の持っている資源（人・技術・組織）を結集していかなければいけません。この基盤技術という観点から浜松についてお話しします。

・浜松の産業の成り立ち

浜松は木工加工と生産業がベースです。これが、ひとつは音楽に行って、もうひとつはバイクに行った訳です。それが、現在車体部品に進んで行きました。

・小企業の倒産が目立っている

事業所の数の変遷を見ると4～29名の小さな所が顕著に減っています。このことは、競争の激しい中、ナンバー1、オンリー1でないと生き残っていくことは難しいのです。この傾向はずっと続いていくことと思います。この地域の会社を800社程回りましたが、ほとんどの会社は今日の仕事で手一杯で、将来の事にはなかなか目が向かないのが実情です。世の中がどんどん変わっていくのについていく余裕がないのがよく分かりました。

・浜松地域における産業イノベーション図説

人財・知財・創業の3本柱ではままつ産業創造センターを立ち上げました。目標とロードマップを作成して、この3本柱を融合して進める必要があります。今、若者の理科離れが甚だしいので、これからものづくりをする人が減っていくことが予想されます。これからは人財育成して、後継者を育ててはいけません。浜松に研究会とか研究組織がたくさんできると面白いです。必要に応じて人を集めて、目標を達成したら解散する組織運用が組織のダイナミズムを生んでいきます。

・次世代産業の一つ「次世代自動車」

浜松は技術集積等の有利な点があります。たとえば、若い人たちを参加させて次世代自動車を浜松が取り組むのは大変面白いと思います。それが、次の基盤技術を生むことにつながります。